



岳北消防本部は発足 50 周年を迎えました。

8 月 8 日(木)、飯山市文化交流館なちゅらにおいて、岳北消防本部発足 50 周年記念式典を開催しました。

岳北消防本部は、昭和 48 年(1973 年)10 月 1 日に、飯山市、木島平村、野沢温泉村 の 1 市 2 村で、岳北広域消防事務組合として 37 名体制で業務を開始しました。平成 10 年(1998 年)11 月 1 日には栄村が加わり、現在は 1 本部、1 消防署、2 分署の 69 名体制で、各種災害から、住民の生命、身体、財産を守っています。

オープニングセレモニーでは、幼年消防クラブ員(飯山中央幼稚園、めぐみ保育園、しろやま保育園)による「防火の歌」が披露され、式典に華を添えていただきました。

また、「過去の災害とこれからの消防」と題し、前長野市消防局長の藤牧泉様による記念講演が行われました。これからも地域に密着した消防として、皆さまの安全・安心の確保に尽力してまいります。

岳北消防本部

【お問い合わせはこちら】

■飯山消防署
■野沢分署
■栄分署
■ホームページ

TEL: 0269-62-0119 FAX: 0269-62-3347
TEL: 0269-85-4119 FAX: 0269-85-3050
TEL: 0269-87-1119 FAX: 0269-87-1120
<http://www.iiyama-catv.ne.jp/~gakuohoku/>

最新の救急車を配備しました！！

岳北消防本部では、令和6年10月に救急車を更新し、野沢分署に配備しました。
当消防本部として初導入した『ブラインド型車両積載情報板』についてご説明します。



長野県内で2台目となる『ブラインド型車両搭載情報板（電光掲示板）』を後部窓に設置しました。
これは、様々な活動情報を発信することで、救急活動に対する理解を深めていただくとともに、特に幹線道路に停車した際に周囲への注意喚起を行い、より安全な活動につなげるものです。

★その他期待される効果は…

- ① 安静に搬送することが必要な状況下で、救急車のスピードが出せないときの後続車に対する情報発信
- ② 傷病者への処置や病院選定を行っていて、救急車がすぐに現場を出発できないときの情報発信
- ③ 濃霧やホワイต์アウトによる視界不良の状況下で、停車して活動する際の注意喚起

暖房器具は正しく使いましょう！

日に日に寒さが厳しくなり、ストーブやこたつなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。暖房器具の使用方法を誤ると、火災につながるリスクが高まります。
暖房器具は正しく使用し、火災予防に心掛けましょう。



暖房器具を使うときに気をつけることは…



石油ストーブ・ファンヒーター

- 指定された燃料以外は使用しない
- 火を消してから給油する
- ストーブの上や近くに洗濯物を干したり、燃えやすい物を置かない
- ファンやフィルターに埃が付いていないか確認する



こたつ

- 外出時は電気こたつのコンセントを抜く
- 電源コードを束ねて使用しない
- 洗濯物をこたつの中に入れて乾かさない
- 豆炭を入れる火床の断熱材に劣化がないか確認する



新規職員の紹介

たか はし しょう
高橋 渉（20歳）

出身地：飯山市

趣味：釣り、ビリヤード

志望理由：祖父が自宅で倒れた際、駆け付けた救急隊員が命を救う活動をしている姿を目の当たりにし自分も消防士になりたいと憧れたから。

抱負：初任科の半年間で身に付けたことを基礎として即戦力になれるよう努力していきたい。



せき くら
関 さくら（19歳）

出身地：飯山市

趣味：旅行、古着屋めぐり

志望理由：小さい頃から、困っている人や助けを必要としている人を見ると、すぐに手を差し伸べてきました。この性格を活かせるのは消防士だと思ったから。

抱負：誰よりも周りを見て行動できるよう、これからも「気づき」を磨き、自分の役割を全うしていきたい。

